

平成 15 年度「特色ある大学教育支援プログラム」  
採択取組の概要および採択理由

大学・短期大学名	金沢工業大学	整理番号	1-1-101
応募テーマ	主として総合的取組に関するテーマ		
取組名称	工学設計教育とその課外活動環境		
申請単位	大学全体		
申請担当者	服部 陽一		
<p>(取組の概要)</p> <p>工学設計教育は、平成 7 年度から実施した教育改革において金沢工業大学が独自に開発した教育であり、平成 14 年度には「文部科学大臣賞」を受賞した。この教育は、学生が「チーム」で設定した課題を共に解決することで、お互いの「人間力と技術力」を磨き合うことにある。学生は積極的なチーム活動を通して「知識を組み合わせ、新たな価値が創出できること」を体得する。更に、工学設計Ⅰ、Ⅱ、Ⅲを体系化しカリキュラムの中核に据え、他の科目との連携も含めて「自ら学ぶ学生の育成」を目指すものである。このため金沢工業大学では、夢考房、工学基礎教育センター、能力開発センター等を設置し学生の課外活動を積極的に支援することで「学生自らが学ぶ仕組み」をキャンパス全体に展開している。その結果、学生のプロジェクト活動や自発的な学習が活性化し、中でもロボット、ソーラーカー等に代表される夢考房プロジェクトの成果が本学教育の活力に繋がっている。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>この取組は、金沢工業大学の教育目的・教育方針である「人間形成」「技術革新」「産学協同」を実現するため、学園理事会の諮問に応じて学内の公的機関の決定を経てすでに 8 年に亘って取り組まれています。当初目標とした「学生が自ら学ぶ教育」が関係者の努力によって達成されるなど大きな成果を上げています。この取組は特に、学生が自ら学ぶ工学設計教育について優れた特色があり、他の大学の参考になる事例です。</p>			